

令和4年度 大津市立長等小学校 「学校評価書」

項目	評価の観点	教職員自己評価	児童 評語 (A・B・C)	児童	保護者 評語 (A・B・C)	保護者	地域関係者 評語 (A・B・C)	地域関係者
主体的・対話的で深い学び	1 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を進めている。	A	①学校の授業に進んで取り組んでいる。	A	①子どもは、授業が楽しいと言っている。 ②学校は、子ども一人ひとりを理解しようと努めている。 ③子どもは、家庭学習にきちんと取り組んでいる。	B	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を進めている。 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用含む）。 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会を進め、授業の工夫・改善に取り組んでいる。
	2 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用含む）	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善に取り組んでいる。	A					
	3 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会を進め、授業の工夫・改善に取り組んでいる。	B					
道徳教育の充実	4 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施を進めている。	A	②人への思いやり、命やルールの大切さについてしっかりと学んでいる。	A	④学校では、学習および様々な活動を通して、思いやりの気持ちや社会のルールを守る気持ちなどを育てている。 ⑤学校では、子どもの発達段階に応じて命の大切さや相手を思いやる心を育てている。	B	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施を進めている。 道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流を行っている。 保護者等への道徳の授業公開を行い、道徳の授業の工夫・改善を進めている。（各段の道徳の授業、道徳授業発信：通信・HPなど）
	5 道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流	道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	B					
	6 保護者等への道徳科の授業公開	保護者等への道徳の授業公開を行い、道徳の授業の工夫・改善を進めている。（各段の道徳の授業、道徳授業発信：通信・HPなど）	B					
体力づくり	7 たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に取り組んでいる。（各段の体育の授業、運動会など）	B	③運動が好きで、体育の授業や休み時間などに進んで体を動かしている。	A	⑥子どもは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣ができています。	A	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に取り組んでいる。 体力づくりを推進する運動等の実践（給食・食育指導なども含む）に取り組んでいる。 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成を進めている。
	8 体力づくりを推進する運動実践	体力づくりを推進する運動等の実践（給食・食育指導なども含む）に取り組んでいる。	B					
	9 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成を進めている。	B					
指導改善（組織的・計画的）	10 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。（長等スタンダード、家庭学習のすすめの配布など）	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。（長等スタンダード、家庭学習のすすめの配布など）	B	④学校の授業はわかりやすい。	A	⑦学校は、学習内容を工夫して分かりやすく指導している。	B	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を進めている。（長等スタンダード、家庭学習のすすめの配布など） 教職員の指導力及び組織的な教育力の向上を図っている。 学校全体の予算を有効に活用し、教育活動の質の改善と保護者負担の軽減を図りつつ働き方改革に取り組んでいる。
	11 教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	教職員の指導力及び組織的な教育力の向上を図っている。	B					
	12 働き方改革の取組と教育活動の質の改善	学校全体の予算を有効に活用し、教育活動の質の改善と保護者負担の軽減を図りつつ働き方改革に取り組んでいる。	B					
育ちと学びを支える連携	① 家庭・地域との連携	13 保護者の子育てに対する積極的な支援 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用 防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくり	A B B	⑤学校でのことを家で話している。	A	⑧学校は、地域や保護者に開かれている。 ⑨子どもは、学校のいろいろなことをよく話す。 ⑩保護者として、学校からの配布物にしっかりと目を通している。 ⑪学校は、児童や家庭のプライバシー保護について努めている。 ⑫学校は、子どもに安全指導を行っている。	B	保護者の子育てに対する積極的な支援を進めている。（日頃の家庭連絡、相談、教育相談巡回訪問など） 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用を進めている。（PTA活動、読み聞かせボランティア、授業参観、学校ホームページ、学校だより、学年・学校通信など） 防災教育の推進と安心・安全な学校づくりを進めている。（避難訓練、緊急時引き渡し訓練など）
	② 保幼小中の連携	14 子どもの校種間交流や教員の出席授業 15 校種間の授業公開や合同研修会 16 保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のねがわぬ研究	B A B					
	③ 生徒指導体制の充実	17 いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導※ 18 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 19 家庭・地域・関係機関との連携による指導	A A A	⑦誰かを困らせたり傷つけたりしないようにしている。	A	⑩学校は、気軽に子どもや保護者の相談に応じてくれる。 ⑪学校は、学級などで起こったいろいろな問題について親身になって対応している。	B	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導を進めている。 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進を進めている。 家庭・地域・関係機関との連携による指導を進めている。
組織的体制の充実	④ 特別支援教育の充実	20 個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用 21 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立 22 関係機関と連携した相談体制の充実	A B A					
	⑤ 児童・生徒の学校満足度	23 児童は、楽しく学校生活を過ごすことができる。	B					

○保護者評価について、今年度は、87.0%＜回答数408（P数469）：昨年比+35.8ポイント＞の保護者から回答を得ることができました。昨年と比べ、回答率は高くなっています。保護者の皆様の本校教育に対する関心の高さを表れと受け止めています。昨年の反省を踏まえ、メール配信等で何度かお願いしたことが高い回答率につながったと考えています。結果を昨年と比べると、平均値で昨年比+0.08点。評価としては、2項目を除いた15項目で3点以上（4点満点）と肯定的な評価をいただくことができましたが、ほとんどの項目（15項目）で評価は下がっています。個々に見ていくと、「保護者として、学校からの配布物にしっかりと目を通している。」や「学校は、児童や家庭のプライバシー保護について努めている。」の項目は、昨年に引き続き、高い評価をいただくことができましたが、「子どもは、授業が楽しいと言っている。」、「学校は地域や保護者に開かれている。」の項目は、他の項目と比べて低い結果となりました。今年もコロナ禍でいろいろなことに自粛を余儀なくされる現状が考えられますが、もっと何らかの工夫ができたのではないかと声を上げ、学校運営協議会やPTA本部役員会等で学校の取組をしっかりと説明しつつ、意見を伺いながら改善を進めていきたいと思います。

○児童評価について、どの項目も3.2点（8割）以上と高い評価結果となっています。特に、「人への思いやり、命やルールの大切さについてしっかりと学んでいる。」の項目は9割を超え、「学校の授業に進んで取り組んでいる。」、「誰かを困らせたり傷つけたりしないようにしている。」の項目はほぼ9割と、高評価となっています。今後も高水準を維持していきたいと考えています。

○今年度は、子どもたちからの評価項目を増やし、三者比較ができるようにしました。全体的に見て、大人の評価より子どもたちの評価が高い傾向が見られます。大人としては、もう少し頑張てほしいが、子ども自身は十分がんばっているという意識の表れだと受け止めています。意識に少しずれが見られるのではないかと考えています。子どもたちがのびのびと生活していくことができるよう、このことは念頭に置いておき、価値観を近づけるよう指導に努めていきたいと思います。また、教職員自己評価と保護者評価を比べると、ほとんどの項目で保護者評価が上回っており学校の取り組みが一定伝わっているように感じられますが、「生徒指導体制の充実」の項目は保護者評価が低い結果となっています。これは、学校として「しているつもり」になっていることの表れだと受け止め、学校での取り組みを丁寧に説明しつつ、理解を得られるようにしていきたいと思います。今年度、三者評価を実施することで、「三方よし」となっていない現状が明らかになりました。三者の価値観の共有ができるよう取り組みを進めていきたいと思います。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で例年実施させていただいているいろいろな行事を縮小実施したり、中止にしたりさせていただきましたが、全体を通して肯定的な評価をいただくことができました。来年度は、今年度の経験を生かし、実施できることを増やせるよう、指導体制の充実を図り、保護者の皆様や地域の皆様と連携しながら、より信頼される学校づくりに取り組んでいきたいと思います。